お寺のある場所を見てみよう！

今回の展覧会では、たくさんのお寺や神社に協力していただいたよ！
それらの寺社が丹後のどこにあるのか見てみよう。
丹後に行ったら、ぜひ訪れてほしいところも一緒に紹介するリン。

京都府立　丹後郷土資料館
(ふるさとミュージアム丹後)

丹後についてもっと知りたいならここ。
縄文時代から近代まで、丹後に関する豊富な資料が保存、収集されています。
展示では、歴史や文化、民俗など様々な視点から丹後が紹介されています。

丹後の昔のお家も
見ることができるんだって

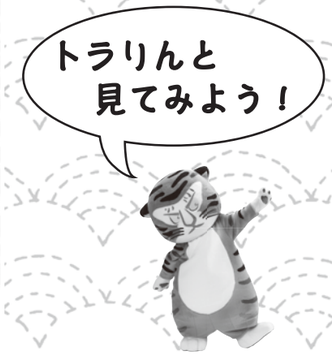
丹後にはこの他にもたくさんの寺社があるよ。
行ってみたくなってきたリン！

天橋立あたりまでは、京都市内からは車で約2時間、電車で2時間半くらいの距離だリン。

あまのはしだて
天橋立

多くの歌に詠まれたり、絵に描かれた天橋立。美しい景色は都人の憧れでした。昔も今も変わらず多くの人が訪れています。

京都国立博物館／〒605-0931　京都市東山区茶屋町527　TEL:075-525-2473（テレホンサービス）
2016年7月26日発行　　編集・発行：京都国立博物館　教育室　　レイアウト：作花麻帆



京都国立博物館
公式キャラクター　トラりん

展示を楽しむための鑑賞ガイド

丹後に伝わる祈りのかたち

特集陳列　丹後の仏教美術
会期：2016年7月26日～9月11日
会場：京都国立博物館　平成知新館

丹後ってどこだろう？

昔は京都府北部を丹後国と呼んでいました。現在の京都府京丹後市、伊根町、宮津市、与謝野町、舞鶴市あたりの日本海に面した地域を指します。

丹後は中国や朝鮮半島に近く、古くから大陸の新しい文化が入ってくる地域でした。
日本海に面する丹後は景観が美しく、日本三景のひとつ「天橋立」は、古くから多くの人々に親しまれてきました。

丹後には、豊かな信仰とたくさんの文化財が残っているよ！
さっそく見てみるリン！

ボクのオススメ作品を紹介するリン！

丹後に残る鬼退治伝説

「等楽寺縁起絵巻」と「斎明神縁起絵巻」はお寺や神社のはじまりについて描かれた絵巻です。どちらも、丹後に伝わる麻呂子親王の鬼退治伝説が題材です。この他にも、浦島太郎や天女の羽衣など、丹後は多くの伝説が残るロマンある地域です。

鬼退治伝説あらすじ

麻呂子親王（聖徳太子の異母弟）は、推古天皇から丹後に住む鬼退治を命じられます。その際、勝利を祈って 7 体の仏像を彫刻しました。見事鬼たちを退治した麻呂子親王は、7 体の仏像をそれぞれ本尊として、7 つのお寺を建てたと伝えられています。等楽寺もそのうちの一つです。

今回展示されている２つの絵巻は、同じ伝説を描いているよ。見くらべてみよう！

鬼退治に行く前に７体の仏像を彫っている場面。なんとその仏像が仏様になって、雲に乗って浮かんでいるよ。

等楽寺縁起絵巻　室町時代　竹野神社蔵

山奥から現れる鬼たち。それぞれの絵巻でポーズは似ているけど、顔や山の描かれ方が少し違うね。

斎明神縁起絵巻　桃山時代　竹野神社蔵

※両作品とも 8 月 28 日までの展示

秘仏公開！初の出開帳！

縁城寺の本尊「千手観音立像」は、めったに公開されない秘仏です。
仏性寺の本尊「阿弥陀如来立像」は、くちびるに水晶が用いられた珍しい仏像です。
どちらもお寺以外で公開されるのは、今回が初めてです。

それぞれにとくちょうがあるよ。表情やポーズも見てみよう。

重要文化財　千手観音立像
平安時代　縁城寺蔵

千手観音は、普通は頭に 11 の小さなお顔があるんだけれど･･･あれれ？珍しい例なんだって。

くちびるに水晶が使われている仏像はとても珍しいよ。

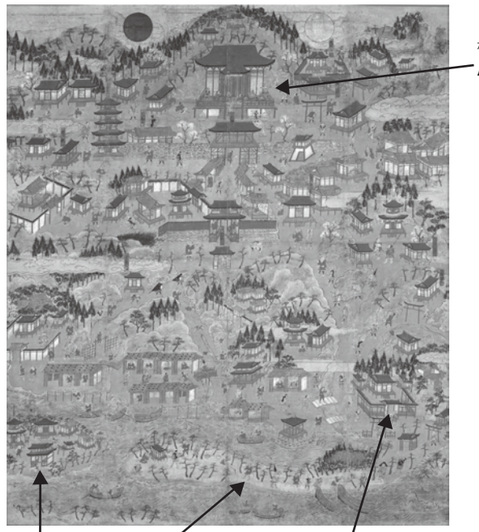
胴と４本の腕は同じ１本の木から彫り出されたんだって。
すごい技だリン！

眼に水晶が使われている仏像はたくさん見たことがあるけど、くちびるに水晶が使われている仏像はボクはじめて見たリン！！

阿弥陀如来立像
鎌倉時代　仏性寺蔵

成相寺と祈りの風景

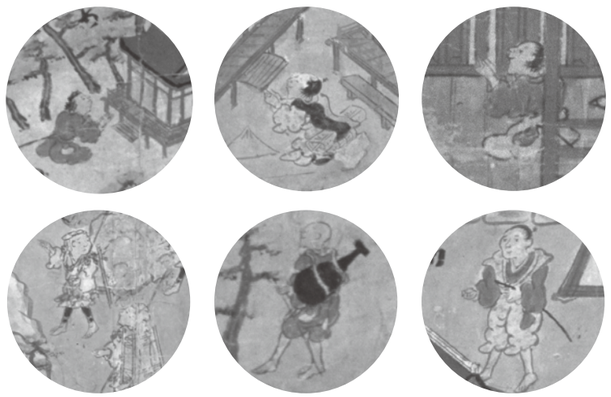
この「成相寺参詣曼荼羅」を拝むと、成相寺に参詣するのと同じご利益があるとされました。曼荼羅には、成相寺を中心に周辺のお寺や神社が描かれ、当時の面影をしのぶことができます。おおぜいの参拝者でにぎわう様子から、この地が昔から仏や神を大切にしてきたことが分かります。



成相寺参詣曼荼羅　桃山時代　成相寺蔵
※8 月 28 日までの展示

お寺や神社に、お参りしている人がたくさん描かれているよ。
どんな人たちかな？

仏様や神様にお祈りする姿は今も昔も変わらないリン



修験者　琵琶法師　武士

修験者･･･山をめぐり歩いて修行をする人
琵琶法師･･･琵琶を弾きながら、物語を語る僧侶の姿をした芸人